

【同時発表先】

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者会、
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、
山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成26年上半期（1月～6月）

**中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量が
対前年同期比6.1%増加！**

中国地方整備局では、中国地方の港湾管理者の調査をもとに、平成26年上半期（1月～6月）の中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量（速報値）を取りまとめましたので、概要をお知らせします。

- 平成26年上半期の国際コンテナ取扱貨物量は30.8万TEUで、対前年同期比6.1%増加
 - 平成26年上半期の外貿コンテナ取扱貨物量は24.9万TEUで、対前年同期比4.2%増加
（参考：日本の五大港湾における外貿コンテナ取扱貨物量は3.2%増加）
 - 平成26年上半期の主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は5.9万TEUで、対前年同期比15.3%増加
- 国際コンテナ取扱貨物量の概況 → P1 参照
 - 外貿コンテナ取扱貨物量の概況 → P2 参照
 - 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の概況 → P3～P4 参照
 - 各港における国際コンテナ取扱貨物量の主な増減要因 → P5 参照
 - 国際コンテナ貨物に関する主なトピックス → P6 参照
 - 中国地方の港湾における定期コンテナ航路の就航状況 → P8 参照

<問い合わせ先>

中国地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室（国際コンテナ戦略港湾政策推進室）

TEL：082-511-3928（直通）：（平日・昼間）

室長 ^{たかつ}高津 ^{のぶはる}宣治 課長補佐 ^{よしだ}吉田 ^{ほうせい}豊成

<広報担当窓口>

中国地方整備局 TEL：082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

広報広聴対策官 ^{さかもと}坂本 ^{しげゆき}繁幸（内線2117）

企画部 環境調整官 ^{た お}田尾 ^{かずなり}和也（内線3114）

中国地方の港湾における国際コンテナ取扱貨物量

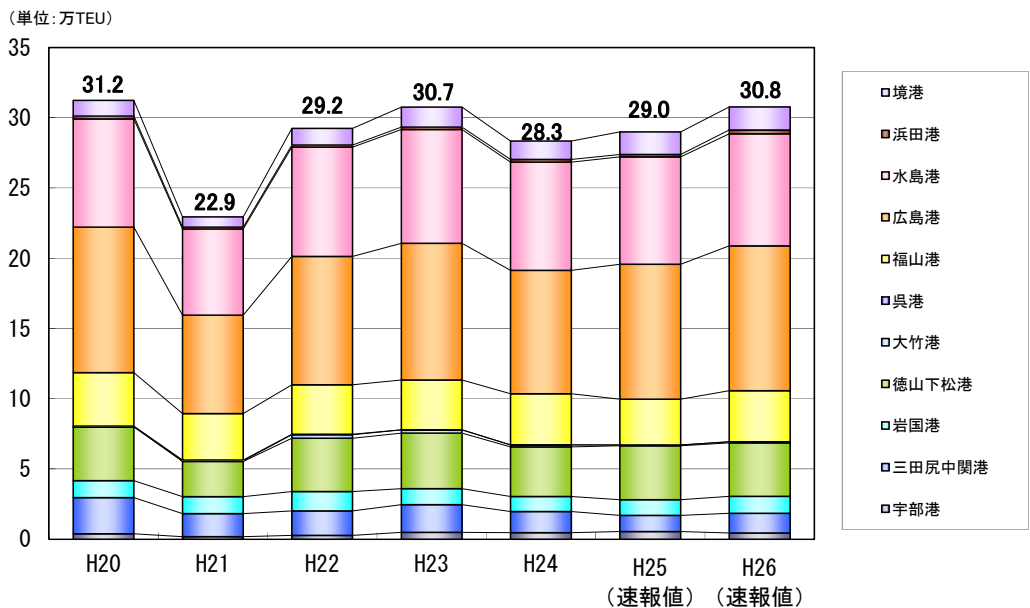
～ 平成26年上半期速報 ～

国際コンテナ取扱貨物量

中国地方の港湾（下関港を除く、以下同じ。）における平成26年上半期の国際コンテナ取扱貨物量の速報値は30.8万TEU^{*1}であり、前年同期比で6.1%増加しています。

（図－1、表－1参照）

※『国際コンテナ取扱貨物量』とは「外貿コンテナ取扱貨物量^{*2}」と「国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{*3}」を足し合わせた取扱貨物量であり、中国地方の港湾を介して輸出入された正味のコンテナ取扱貨物量です。



図－1【国際コンテナ取扱貨物量の推移】

表－1【港別の国際コンテナ取扱貨物量（空コンテナを含む）】

(単位: TEU)

港 湾 名	平成25年上半期 (速報値)			平成26年上半期 (速報値)			平成25年 からの増減 (TEU)	平成25年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
境 港	16,109	8,243	7,866	16,401	8,500	7,901	292	1.8%	3.1%	0.4%
浜 田 港	1,696	849	847	2,704	1,313	1,391	1,008	59.4%	54.7%	64.2%
水 島 港	76,469	38,461	38,008	79,763	40,768	38,995	3,294	4.3%	6.0%	2.6%
広 島 港	95,992	48,693	47,299	103,042	52,387	50,655	7,050	7.3%	7.6%	7.1%
福 山 港	32,634	14,989	17,645	36,381	17,080	19,301	3,747	11.5%	14.0%	9.4%
呉 港	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
大 竹 港	639	639	0	821	645	176	182	28.5%	0.9%	皆増
徳 山 下 松 港	38,342	25,606	12,736	38,005	24,781	13,224	▼337	▼0.9%	▼3.2%	3.8%
岩 国 港	11,164	8,069	3,095	12,093	8,611	3,482	929	8.3%	6.7%	12.5%
三 田 尻 中 関 港	11,490	6,882	4,608	14,025	9,426	4,599	2,535	22.1%	37.0%	▼0.2%
宇 部 港	5,437	2,999	2,438	4,473	2,769	1,704	▼964	▼17.7%	▼7.7%	▼30.1%
合 計	289,972	155,430	134,542	307,708	166,280	141,428	17,736	6.1%	7.0%	5.1%

注1) 呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

■ 外貿コンテナ取扱貨物量^{※2}

- 中国地方の港湾における平成26年上半期の外貿コンテナ取扱貨物量の速報値は24.9万TEUであり、前年同期比で4.2%増加しています。〔輸出：5.4%増加、輸入：2.8%増加〕

(図-2、表-2参照)

- 外貿定期コンテナ就航航路数は、平成26年6月末時点で韓国、中国、台湾、香港、東南アジア、ロシア、北米方面へ週78.75便が就航しています。これは、平成25年6月末(週71.75便)と比較すると週7便増加しています。

- 平成26年上半期の中国地方の港湾における合計貨物量が増加しているのと同様に、平成26年上半期の日本の五大港の合計貨物量(686万TEU)は、前年同期比で3.2%増加しています。

(表-2参照)

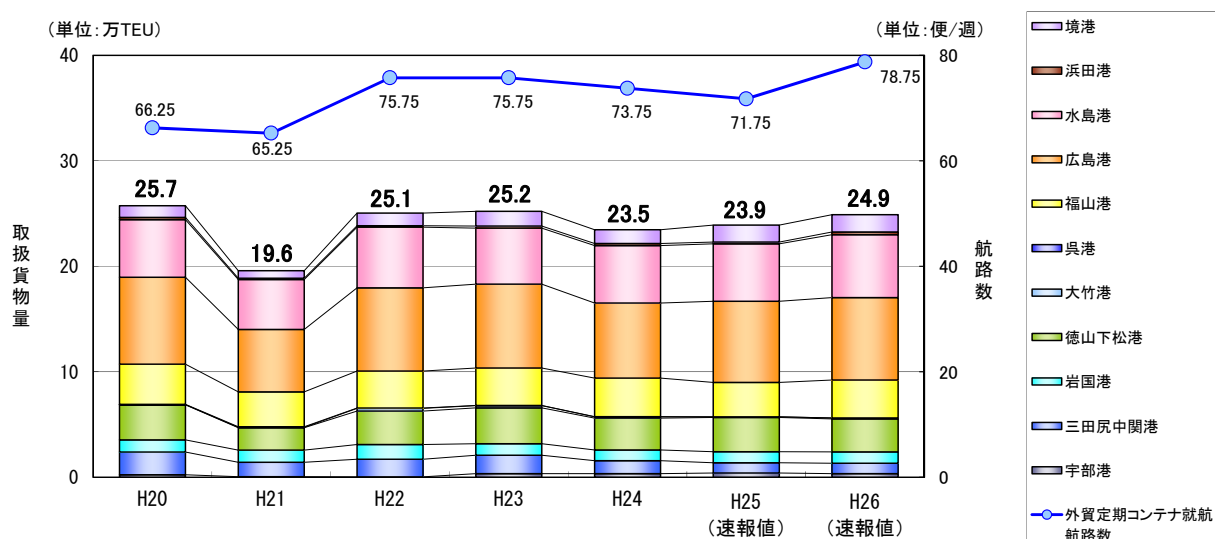


図-2 【外貿コンテナ取扱貨物量と週あたり就航航路数の推移】

表-2 【港別の外貿コンテナ取扱貨物量(空コンテナを含む)】

港 湾 名	平成25年上半期 (速報値)			平成26年上半期 (速報値)			平成25年 からの増減 (TEU)	平成25年からの伸び率		
	合計	輸出	輸入	合計	輸出	輸入		合計	輸出	輸入
境 港	16,109	8,243	7,866	16,401	8,500	7,901	292	1.8%	3.1%	0.4%
浜 田 港	1,696	849	847	2,704	1,313	1,391	1,008	59.4%	54.7%	64.2%
水 島 港	54,455	27,113	27,342	59,553	30,492	29,061	5,098	9.4%	12.5%	6.3%
広 島 港	76,968	39,346	37,622	78,199	40,936	37,263	1,231	1.6%	4.0%	▼1.0%
福 山 港	32,615	14,986	17,629	35,946	16,813	19,133	3,331	10.2%	12.2%	8.5%
呉 港	0	0	0	0	0	0	—	—	—	—
大 竹 港	639	639	0	821	645	176	182	28.5%	0.9%	皆増
徳山下松港	32,437	20,433	12,004	31,399	19,915	11,484	▼1,038	▼3.2%	▼2.5%	▼4.3%
岩 国 港	10,336	7,420	2,916	10,753	7,454	3,299	417	4.0%	0.5%	13.1%
三田尻中関港	9,812	5,573	4,239	9,855	5,758	4,097	43	0.4%	3.3%	▼3.3%
宇 部 港	4,043	2,141	1,902	3,443	1,751	1,692	▼600	▼14.8%	▼18.2%	▼11.0%
合 計	239,110	126,743	112,367	249,074	133,577	115,497	9,964	4.2%	5.4%	2.8%
【参考】五大港合計 (単位: 万TEU)	665	329	337	686	341	345	21	3.2%	3.8%	2.5%

注1) 呉港については、平成24年11月より外貿コンテナ航路が一時休止。

注2) 五大港：東京港、横浜港、名古屋港、大阪港、神戸港

■ 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量^{※3}

・中国地方の港湾における平成26年上半期の主に阪神港を利用した国際フィーダーコンテナ取扱貨物量は5.9万TEUであり、前年同期比で15.3%増加しています。(図-3、表-3参照)

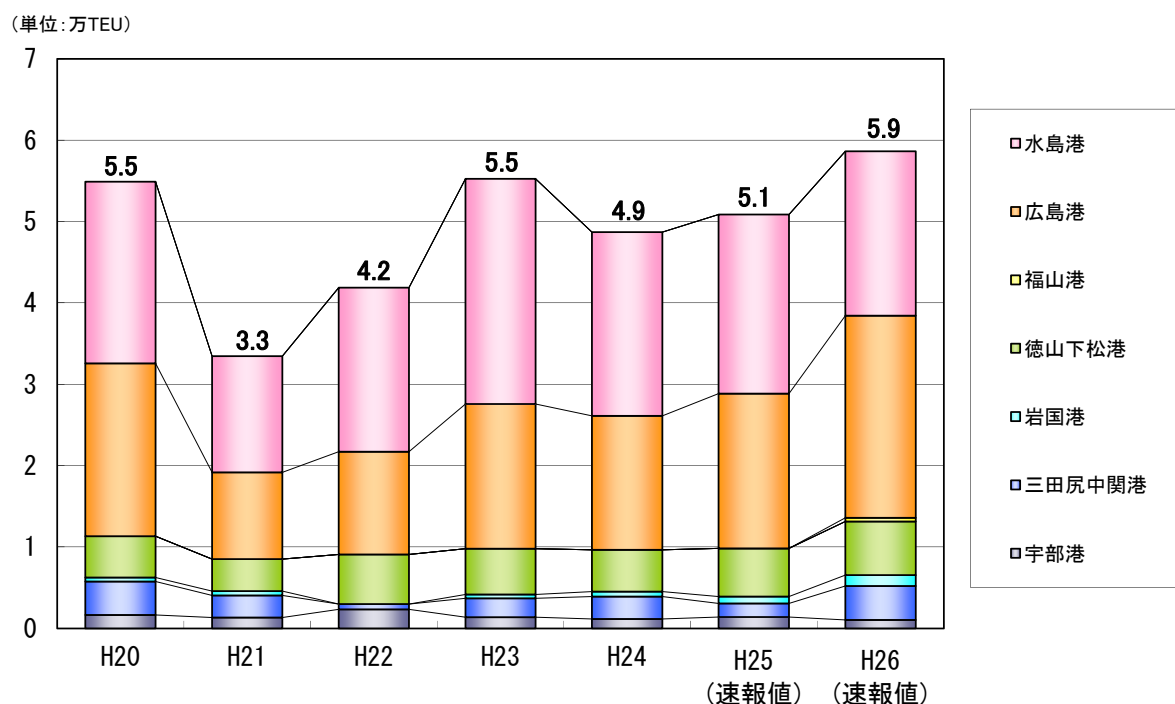


図-3 【国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

表-3 【港別の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量 (空コンテナを含む)】

(単位:TEU)

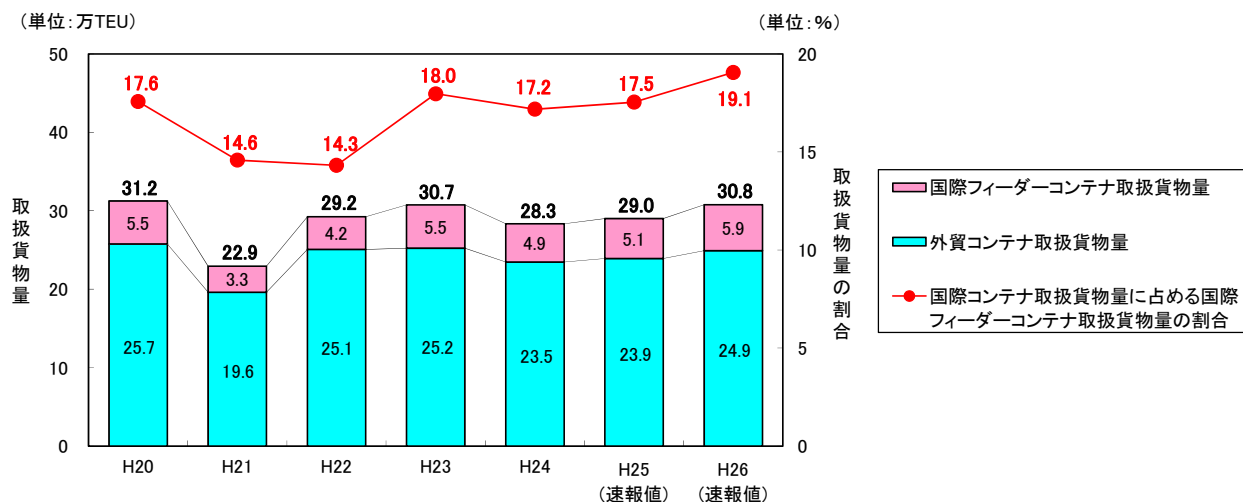
港 湾 名	平成25年上半期 (速報値)			平成26年上半期 (速報値)			平成25年 からの増減 (TEU)	平成25年からの伸び率		
	合計	出	入	合計	出	入		合計	出	入
水 島 港	22,014	11,348	10,666	20,210	10,276	9,934	▼1,804	▼8.2%	▼9.4%	▼6.9%
広 島 港	19,024	9,347	9,677	24,843	11,451	13,392	5,819	30.6%	22.5%	38.4%
福 山 港	19	3	16	435	267	168	416	2189.5%	8800.0%	950.0%
徳 山 下 松 港	5,905	5,173	732	6,606	4,866	1,740	701	11.9%	▼5.9%	137.7%
岩 国 港	828	649	179	1,340	1,157	183	512	61.8%	78.3%	2.2%
三 田 尻 中 関 港	1,678	1,309	369	4,170	3,668	502	2,492	148.5%	180.2%	36.0%
宇 部 港	1,394	858	536	1,030	1,018	12	▼364	▼26.1%	18.6%	▼97.8%
合 計	50,862	28,687	22,175	58,634	32,703	25,931	7,772	15.3%	14.0%	16.9%

注1) 福山港の平成25年上半期については、平成25年5月に神戸フィーダー航路が就航したため、1ヶ月間の取扱実績である。

- 中国地方の港湾における平成26年上半期の国際コンテナ取扱貨物量に対する国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合は19.1%となっており、近年では最も高い割合となっています。

(図－4、表－4参照)

- 中国地方の港湾における平成26年の国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳を見ると、広島港、水島港、徳山下松港の3港の合計取扱量のみで全体の約9割を占めています。(図－5参照)



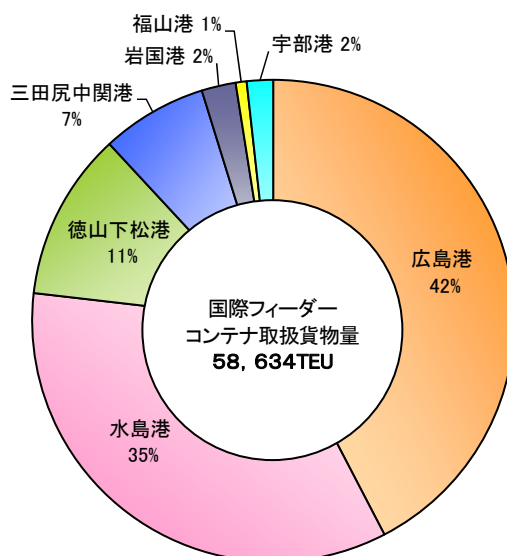
図－4 【国際コンテナ取扱貨物量に占める国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合】

表－4 【国際コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の推移】

(単位:万TEU、%)

種別	H20	H21	H22	H23	H24	H25 (速報値)	H26 (速報値)
①国際フィーダーコンテナ取扱貨物量	5.5	3.3	4.2	5.5	4.9	5.1	5.9
②外貿コンテナ取扱貨物量	25.7	19.6	25.1	25.2	23.5	23.9	24.9
③国際コンテナ取扱貨物量 (①+②)	31.2	22.9	29.2	30.7	28.3	29.0	30.8
国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の割合 (%) (①/③*100)	17.6	14.6	14.3	18.0	17.2	17.5	19.1

※国際コンテナ取扱貨物量は外貿コンテナ取扱貨物量と国際フィーダーコンテナ取扱貨物量との和



図－5 【平成26年上半期 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量の港別内訳】

■ 各港における国際コンテナ取扱貨物量の主な増減要因

平成26年上半期の国際コンテナ取扱貨物量を平成25年上半期と比較し、主な増減要因を以下のとおりまとめました。

△ 境港：292TEU 増（平成25年同期比 1.8%増）

アメリカ向けの「産業機械」や韓国及び中国向けの「紙・パルプ」の輸出が増加しました。

△ 浜田港：1,008TEU 増（平成25年同期比 59.4%増）

韓国向けの「原木」や中国・台湾向けの「紙・パルプ」の輸出、中国からの「化学薬品」や韓国からの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸入が増加しました。

△ 水島港：3,294TEU 増（平成25年同期比 4.3%増）

韓国向けの「鋼材」や「非鉄金属」の輸出、韓国からの「化学薬品」や「その他製造工業品」の輸入が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、欧米向けの「自動車部品」の取扱いが減少、東南アジアからの「その他農産品」の取扱いが増加しました。

△ 広島港：7,050TEU 増（平成25年同期比 7.3%増）

東南アジア向けの「自動車部品」の輸出が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、北中米及び東南アジア向けの「自動車部品」の取扱いが増加、北中米及び東南アジアからの「自動車部品」の取扱いが増加しました。

△ 福山港：3,747TEU 増（平成25年同期比 11.5%増）

フィリピン向けの「金属製品」の輸出が増加しました。また、平成25年5月の神戸フィーダー航路の就航に伴い、国際フィーダーコンテナ取扱貨物として、「その他日用品」等の取扱いが開始された。

△ 大竹港：182TEU 増（平成25年同期比 28.5%増）

本年3月の韓国航路の増便に伴い、韓国から「化学薬品」等の輸入が開始された。

▼ 徳山下松港：337TEU 減（平成25年同期比 0.9%減）

国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、タイ向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の取扱いが減少、アメリカからの「ゴム製品」の取扱いが増加しました。

△ 岩国港：929TEU 増（平成25年同期比 8.3%増）

韓国からの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の輸入が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、台湾向けの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の取扱いが増加しました。

△ 三田尻中関港：2,535TEU 増（平成25年同期比 22.1%増）

中国からの「自動車部品」の輸入が増加しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、タイ向けの「自動車部品」の取扱いが増加、ベトナムからの「自動車部品」の取扱いが増加しました。

▼ 宇部港：964TEU 減（平成25年同期比 17.7%減）

韓国向けの「窯業品」の輸出が減少しました。また、国際フィーダーコンテナ取扱貨物量のうち、アメリカからの「染料・塗料・合成樹脂・その他化学工業品」の取扱いが減少しました。

■ 国際コンテナ貨物に関する主なトピックス（平成25年7月から平成26年6月まで）

【境港】外港昭和南地区の国際コンテナターミナル拡張、韓国（釜山）航路が増便

- ・平成25年9月、コンテナ貨物の増加に対応するための国際コンテナターミナルの拡張工事が完成し、供用が開始されました。
- ・平成26年6月、境港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が増便となりました。
（韓国航路：週4便 → 週5便）

【水島港】玉島地区の国際コンテナターミナル機能強化、港湾運営会社制度の導入

- ・平成25年11月、玉島地区の水島港国際コンテナターミナルにおいて、耐震機能を強化した岸壁（水深12m）1バースと埠頭用地（約4ha）、ガントリークレーン1基が新たに供用開始しました。
- ・平成26年4月、港湾運営会社制度の導入により、水島港国際物流センター株式会社による水島港6号埠頭の国際コンテナターミナル及び4号埠頭のユニットロードターミナルの一体的な管理運営が開始されました。

【広島港】韓国（釜山）航路が増便

- ・平成26年4月、広島港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が増便となりました。
（韓国航路：週9便 → 週10便）

【福山港】韓国（釜山）航路が増便、台湾・東南アジア航路が新たに就航

- ・平成26年3月、福山港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が増便となりました。
（韓国航路：週4便 → 週5便）
- ・平成26年3月、福山港と台湾・東南アジアを結ぶ外貿定期コンテナ航路が新たに就航しました。
（台湾・東南アジア航路：ゼロ → 週1便）

【大竹港】韓国（釜山）航路が増便

- ・平成26年3月、大竹港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が増便となりました。
（韓国航路：週1便 → 週2便）

【徳山下松港】韓国（釜山）航路が増便

- ・平成25年11月、徳山下松港と韓国（釜山）を結ぶ外貿定期コンテナ航路が増便となりました。
（韓国航路：週6便 → 週7便）

【岩国港】タイヤマウント式クレーン（2基目）が供用開始

- ・平成26年4月、岩国港新港地区コンテナターミナルに新たに設置されたタイヤマウント式クレーン（2基目）が供用開始しました。

【宇部港】国際フィーダー航路（神戸）の増便

- ・平成26年1月、宇部港と神戸港を結ぶ国際フィーダー航路が週1便増加しました。
（国際フィーダー航路（神戸）：週1便 → 週2便）
（※宇部港と神戸港を結ぶ国際フィーダー航路については、平成26年7月に週1便減少し、現在、週1便が就航）

参考

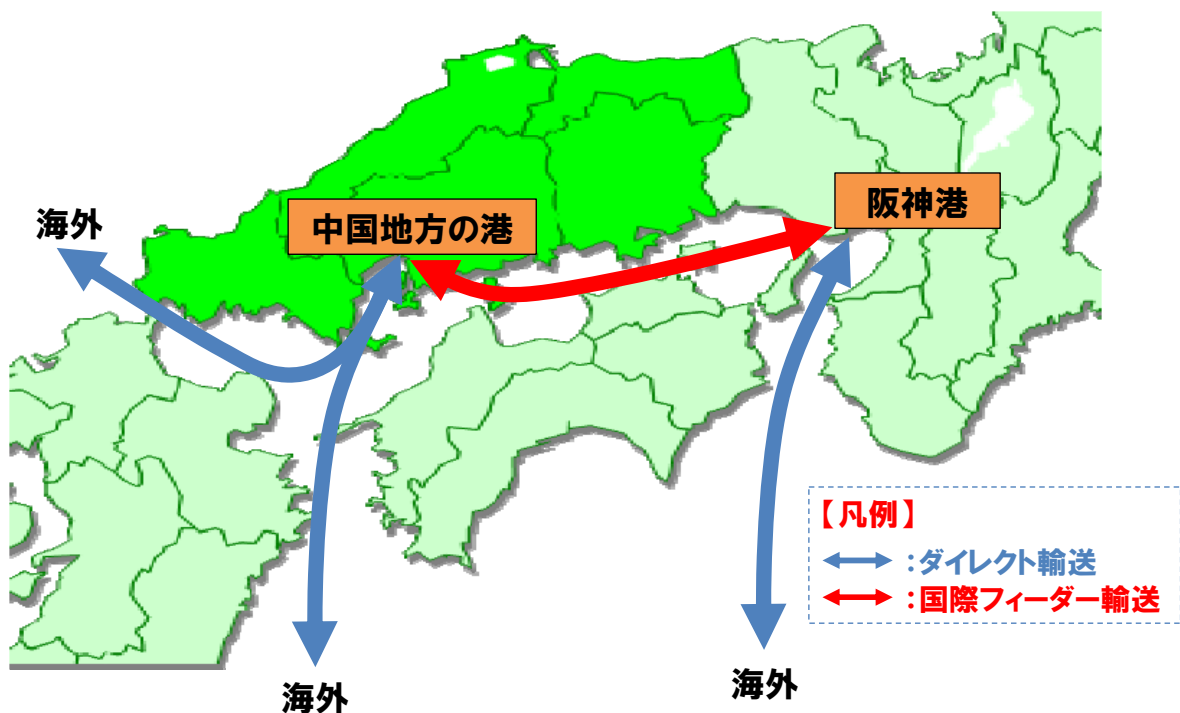
※1 TEU (Twenty-foot Equivalent Units) とは、20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位です。国際輸送に用いられるコンテナには主に、20フィートコンテナ、40フィートコンテナがあり、40フィートコンテナ1個は2TEUと計算します。20フィートコンテナ（長さ約6.06m×幅約2.44m×高さ約2.59m）1個の内容積は約33m³です。



写真 港でのコンテナの取扱状況

※2 外貿コンテナ取扱貨物量とは、日本の港湾（本文中では中国地方の港湾）と海外の港湾間で直接輸出入される（取り扱われる）コンテナ取扱貨物量を言います。（下図の「ダイレクト輸送」を参考）

※3 国際フィーダーコンテナ取扱貨物量とは、コンテナ貨物を海外へ輸出する場合、中国地方の港と国内主要港（阪神港、京浜港等）間を内航船で輸送した後、国内主要港で外貿コンテナ船に積み替えられて輸出されるコンテナ取扱貨物量を言います。コンテナ貨物を海外から輸入する場合はその逆の流れとなります。（下図の「国際フィーダー輸送」を参考）



【凡例】

↔ :ダイレクト輸送
↔ :国際フィーダー輸送

